

平成 2 3 年度
企画文化局予算要求方針

【目次】

- 1 平成 2 3 年度企画文化局予算要求総括表及び経営方針・・・ 1
- 2 重点的に取り組みを行う主なもの・・・・・・・・・・・・ 5
- 3 事務事業の見直し等（主なもの）・・・・・・・・・・・・ 1 0

1 平成 2 3 年度企画文化局予算要求総括表及び経営方針

(1) 平成 2 3 年度企画文化局予算要求総括表

【一般会計】

平成 2 3 年度要求総額 6 , 3 2 6 , 1 2 8 千円
 (平成 2 2 年度予算額 5 , 8 4 5 , 5 0 3 千円)
 前年度比 + 8 . 2 %

《主な事業》

(単位 : 千円)

事業名	平成 2 3 年度 予算要求額 A	平成 2 2 年度 予算額 B	増 減 A - B
環境未来都市・国際戦略総合特区推進事業	18,452	0	18,452
新 市制 5 0 周年 記念事業	9,078	0	9,078
新 (仮称) 北九 州ミュージアム構 想推進事業	39,249	0	39,249
新 日本語教室支 援事業	8,502	0	8,502
アジアゲートウェ イ推進事業	6,200	5,000	1,200
新 (仮称) 北九 州市漫画ミュージ アム設置事業	750,685	0	750,685
新 大規模大会開 催準備・検討事業	7,410	0	7,410
新 ホームタウン 推進事業	49,150	0	49,150

(2) 平成 2 3 年度企画文化局経営方針

「人と文化を育み、世界につながる、環境と技術のまち」の実現に向けた「元気発進！北九州」プラン（北九州市基本構想・基本計画）の着実な実行及び「緑の成長戦略」推進のため、市民理解の促進と行政内部の総合調整機能を果たします。

また、北九州ブランドの浸透を図り、これらを活用したシティプロモーションを展開することにより、まちのにぎわいを創出し、誰もが「住んでみたい、住み続けたい」と思うまちづくりを推進します。

さらに、アジアの活力を取り込んだ地域振興を推進するため、海外各都市との連携基盤を強化するとともに、多様な国籍・文化の人々と共生する「多文化共生」のまちづくりを進め、併せて、芸術・文化、スポーツの振興を図り、にぎわいやふれあいの醸成と、多彩な交流をつくりだします。

「環境」と「アジア」をキーワードとした

「緑の成長戦略」の推進

課題

- ・ものづくりの技術と、環境分野の経験と実績といった本市の強みを活かし、発展著しいアジアの活力を取り込み、地域経済の活性化と雇用の創出を図る「緑の成長戦略」の推進のため、行政内部の総合調整と進捗管理を行うこと
- ・「元気発進！北九州」プランの市民への理解を深め、市民とともにまちづくりを進める機運を高めること

《方針》

- ・「環境」と「アジア」をキーワードとした本市の「緑の成長戦略」を推進するため、「環境未来都市」、「国際戦略総合特区」指定に向けた調査、提案活動等を推進します。
- ・「人と文化を育み、世界につながる、環境と技術のまち」というまちづくりの目標実現に向け、多くの市民にまちづくりに参加してもらえるように、引き続き「元気発進！北九州」プランの市民への浸透に努めます。

北九州ブランドの浸透とにぎわいづくりの推進

課題

- ・北九州ブランドの浸透により市民の自信と誇りを醸成し、これらを活用したシティプロモーションを展開することで、にぎわいのあるまちづくりを進めること

《方針》

- ・市民自身がわがまちを再発見するとともに、まちへの自信と誇りを育てることを目的に、北九州ブランドを広く市民に浸透させる活動を行います。
- ・独自性のあるシティプロモーションを展開するため、北九州ブランドの活用や人的ネットワークの拡大を進めます。
- ・まちのさらなるにぎわいを創出するため、市民が主体となって実施する多様な取組みを支援します。

海外各都市との連携基盤の強化と

多文化共生のまちづくりの推進

課題

- ・海外各都市との連携基盤を強化し、より戦略的な国際連携を推進すること
- ・NPO・ボランティアとのネットワークを活用し、外国人市民も地域の一員として、安心して生活できる環境づくりを進めること

《方針》

- ・アジアのゲートウェイ機能強化のため、東アジア経済交流推進機構等を活用した経済分野の交流を拡充するとともに、海外事務所や海外関係機関との協力の下、現地情報の収集やプロモーション事業等を実施します。
- ・成長著しい新興国との新たな交流開拓に向けて、一昨年のベトナムに続き、インドを対象とした交流可能性の調査等を行います。
- ・グローバル時代に対応した、新たなまちの魅力となる「多文化共生」のまちづくりを推進するため、外国人市民の意見や要望を把握する体制を構築するとともに、日本語習得支援の環境づくりなどを行います。

課題

- ・ あらゆる世代の誰もが気軽に芸術・文化、スポーツに親しむことのできる環境を整備し、にぎわいやふれあいの醸成と、次世代を担う人材を育成すること
- ・ 芸術家が集まり育つまちづくりや、多種多彩な市民スポーツの振興を図り、その情報を発信して多彩な交流を創出すること

《方針》

- ・ あらたに策定した文化振興計画とスポーツ振興計画（平成23年9月頃策定予定）に基づき、文化、スポーツ施策を効果的かつ計画的に推進します。
- ・ 漫画や演劇など、本市が持つ芸術・文化資源を活かした施設整備や公演、芸術人材の育成等を行い、その情報を発信します。
- ・ スポーツ施設の整備に取り組むとともに、プロスポーツチームの育成支援や、大規模スポーツ大会の誘致などにより、まちのにぎわいを創出します。

2 重点的に取り組みを行う主なもの

(1) 「環境」と「アジア」をキーワードとした

「緑の成長戦略」の推進

- 1 ・ 継続

環境未来都市・国際戦略総合特区推進事業

18,452 千円

「環境」と「アジア」をキーワードとした本市の「緑の成長戦略」を推進するため、国の新成長戦略に基づき創設が予定されている「環境未来都市」、「国際戦略総合特区」指定のための調査、提案活動等を推進します。

(2) 北九州ブランドの浸透とにぎわいづくりの推進

- 4 ・ 新規

市制 5 0 周年記念事業

9,078 千円

平成 2 5 年に迎える市制 5 0 周年を市民の皆さんとともに祝い、これまでの歴史の中で培われた本市の強みや魅力を再発見し未来へとつなげる年とするため、市民の皆さんからの意見もいただきながら記念事業構想を作ります。また、本市の合併の歴史等にかかる展示事業等の記念事業に取り組みます。

- 3 ・ 新規

世界遺産候補を活かしたまちづくり推進事業

7,500 千円

本市にある近代化産業遺産群のうち、旧官営八幡製鐵所の関連施設がユネスコの世界遺産暫定一覧表に登録されたことを受け、世界遺産登録に向けた調査、計画策定等を実施するとともに、世界遺産候補を活用したまちづくりを推進します。

- 4 ・ 新規

(仮称) 北九州ミュージアム構想推進事業

39,249 千円

「美しいまち北九州」をコンセプトに市民からの意見・提案をもとに、まち全体をミュージアムとして、さまざまな地域資源を発掘・再発見し、磨き・際立たせ、それぞれを結びつけストーリー性を持たせることで、本市の魅力を高め市内外に発信する(仮称) 北九州ミュージアム構想の検討を行います。

- 4 ・ 拡 充

ブランド創造・シティプロモーション事業

8,001 千円

(うち拡充分 3,001 千円)

北九州ブランドをテーマとしたワークショップの開催などにより、市民のまちへの愛着や誇りを醸成し、まちが一体となったシティプロモーションを展開します。また、北九州市応援団の輪を広げ、クチコミ等を活用した本市のシティプロモーションを行います。

- 4 ・ 拡 充

ディスカバー北九州キャンペーン事業

5,165 千円

(うち拡充分 2,965 千円)

市民がまちの魅力に気づき、愛着と誇りを持てるように、本市の優れた資源や財産を見つめ直し、地域を再発見する「ディスカバー北九州キャンペーン」を展開します。

(3)

海外各都市との連携基盤の強化と

多文化共生のまちづくりの推進

- 2 ・ 拡 充

アジアゲートウェイ推進事業

6,200 千円

(うち拡充分 1,200 千円)

アジアゲートウェイ機能強化のため、「東アジア経済交流推進機構」日中韓加盟 10 都市間のビジネス支援のためのワンストップセンターのネットワーク化に向けた取り組みや、市長によるトップセールスなど、関係部署と連携した総合プロモーション等を行います。

— 2 ・ 新 規

インドとの交流推進事業

1,561 千円

世界第 2 位の人口を有し、高いGDP成長率を維持しているインドをターゲットとした国際戦略を策定するため、JICAインド研修員とのネットワーク作りや講演会などを行います。

- 3 ・ 新規

多文化共生環境整備事業

4,936 千円

多文化共生施策を推進するため、（仮称）外国人市民懇話会の設置、多文化共生サポーターの養成、外国人市民の医療環境実態調査などを行います。

（住民生活に光をそそぐ交付金基金活用予定）

- 3 ・ 新規

日本語教室支援事業

8,502 千円

市内で増加傾向にあるニューカマーの外国人市民の日本語習得を支援するため、日本語教室の設立支援やボランティアグループのネットワーク支援などを行います。

（住民生活に光をそそぐ交付金基金活用予定）

（ 4 ） 芸術・文化、スポーツを通じたにぎわい・ふれあいと

多彩な交流の創出

- 2 ・ 新規

（仮称）北九州市漫画ミュージアム設置事業

750,685 千円

松本零士氏をはじめとする地元ゆかりの漫画家とその作品を中心に、様々な漫画の魅力を幅広い世代に伝えるための漫画文化の拠点「（仮称）北九州市漫画ミュージアム」を整備します。

- 2 ・ 新規

門司港美術工芸研究所支援事業

18,628 千円

全国的にも珍しい、研究員制度を導入した芸術人材の育成機関「門司港美術工芸研究所」を支援し、本市の芸術・文化への取り組み姿勢を広くアピールするとともに、研究所出身の芸術家輩出を図ります。

- 2 ・ 新規

黒崎副都心「文化・交流拠点地区」整備事業

（ホール分）

338,658 千円

黒崎副都心「文化・交流拠点地区」において、ホールを整備します。

- 2 ・ 新規

大規模大会開催準備・検討事業

7,410 千円

ボランティアを含めて多くの市民が参画する（仮称）北九州シティマラソンや、全国規模のスポーツ大会である日本スポーツマスターズの誘致・開催に向けた調査、検討を行います。

- 2 ・ 新規

ホームタウン推進事業

49,150 千円

本市初のプロスポーツチーム「ギラヴァンツ北九州」の応援ムードの高揚、市民認知度向上を図ることを目的に、市民のホームゲームへの招待や選手等による健康教室、あるいは看板の掲出などのPR活動を行います。

- 2 ・ 拡充

戸畑D街区スポーツ施設整備計画等策定調査

33,500 千円

(うち拡充分 30,500 千円)

身近なスポーツ施設の充実を図るため、戸畑D街区のスポーツ施設整備について、これまでの調査・検討を踏まえた整備計画等の策定を行います。

- 2 ・ 継続

ギラヴァンツ北九州支援事業

50,000 千円

市民に夢や感動を与え、市民が一つになれるシンボルチームをつくるため、平成22年から、プロスポーツチームとしてJリーグ2部（J2）に参入した「ギラヴァンツ北九州」に対し支援を行います。

- 2 ・ 継続

新球技場整備方針策定検討会経費

3,000 千円

新球技場整備方針の策定に当たり、「（仮称）新球技場整備方針策定検討会」を設置し、新球技場の将来像をオープンに議論します。

(5) 市民、企業、N P O等との協働した事業展開

- 4 ・ 新規	市制 5 0 周年記念事業 (再掲)	9,078 千円
- 3 ・ 新規	世界遺産候補を活かしたまちづくり推進事業 (再掲)	7,500 千円
- 4 ・ 拡充	ブランド創造・シティプロモーション事業 (再掲)	8,001 千円 (うち拡充分 3,001 千円)
- 4 ・ 拡充	ディスカバー北九州キャンペーン事業 (再掲)	5,165 千円 (うち拡充分 2,965 千円)
- 4 ・ 継続	にぎわいづくり推進事業	9,830 千円 <u>集客対策の強化のため、「集客交流計画」を推進し、民間活動や集客力のある民間イベントの支援を行います。</u>
- 2 ・ 新規	大規模大会開催準備・検討事業 (再掲)	7,410 千円
- 2 ・ 新規	ホームタウン推進事業 (再掲)	49,150 千円

3 事務事業の見直し等（主なもの）

（１）行政評価による見直し

（財）国際東アジア研究センターへの補助金の見直し
受託事業等を拡充し、外部資金の獲得を図ることで補助金の削減を行います。

他都市と連携する協議会等への負担金支出の見直し
事業内容を再検証し、より費用対効果の高い内容に見直すことで、経費の削減を行います。

効果的な広報活動による経費の見直し
これまでの実績を分析し、より効果的な広報活動を実施することで、経費の削減を行います。

（２）その他の見直し

首都圏における情報発信事業の見直し
従来の「東京アンテナショップ事業」を「情報誌『雲のうえ』都市イメージアップ事業」と統合し、効率的な事業運営による経費削減を行います。